

江戸時代後期の巨星

寄稿

佐川 春久

高萩市出身の江戸時代の

地理学者、長久保赤水（1

717～1801年）の頭

彰活動を続けてきた長久保

赤水頭彰会は、昨年11月6

日（赤水先生の誕生日）に

創立30周年を迎えた。これ

を記念して同日、「江戸時

代後期の巨星 長久保赤

水」と「長久保赤水資料群」

の2冊の書籍を茨城新聞社

しかしながら、高萩市民
や茨城県民の長久保赤水へ
の認知度は依然として低い
ままである。その現況を打
破しようと、今年91歳を迎
えられた長久保赤水頭彰会
顧問の長久保片雲（源蔵）
先生が筆を執った。

2020（令和2）年9
月30日に、永年の悲願であ
り、

「江戸時代後期の巨星
長久保赤水」の巻頭のごあ
いさつ文を書いた大部勝規
高萩市長が、この本の帯で
も「歴史を未来に語り継ぐ
ということは非常に重要で
す！ 私も連載形式の内容を
を一気に読み終えてしま
い、郷土から侍講へ。水戸

ました」とご紹介いただ
きたい。たよりに、1回1000字
の原稿と写真1枚、新聞運
載形式の100回分を非常
に分かりやすい内容で書い
ていただいた。

主な項目は、誕生地、誕
生日、生みの親、育ての親、
鈴木玄淳の塾、結婚、名越

藩主治保公の先生となる。
藩主へ奉呈「農民疾苦」。
赤水の門人たち。地理・余
技から本業へ。赤水宅訪問
の奮れ。子孫・後輩への教
えなどである。B5判1
98頁。

赤水資料693点が重文

つた長久保赤水関係資料6
93点が、国の重要文化財
に指定された。現在、その
一部は高萩市歴史民俗資料
館（月曜休館）に展示され
ている。ぜひ、皆さま方に
もご覧いただきたい。

南溪よりの学問への指針。
東奥紀行。讒言に喘ぐ赤
水。長崎行役日記。安南国
漂流物語。清桎唱和集。京
都旅日記。百姓が水戸藩郷
士へ。「赤水図」からの飛

本書では、赤水先生の人物
像や偉業を成し遂げた背
景、その時々々の想い等が臨
場感あふれた形で表現され
ております」と大部市長は
続けて紹介している。

（長久保赤水頭彰会長）

茨城新聞

2023年

4月2日